

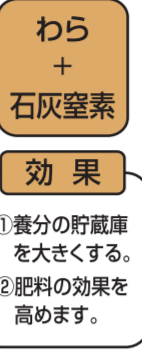
# 加古川良質米栽培ごよみ

令和7年産

普通栽培 (10aあたり)

## 土づくりの三本柱

- ① 秋すき  
稲わらは秋耕時に土づくり肥料と一緒にすき込むと、秋から冬に腐熟が進むため、未腐熟稲わらで発生する有害なガスを抑えることができます。  
石灰窒素 (20kg/10a) 施用で稲わらの腐熟促進効果があります。
  - ② 深耕  
作土層が浅くなっており、地力低下に拍車をかけています。できる限り深耕に努めましょう。トラクターの速度を落とし、一番遅い回転でロータリー耕を行う。
  - ③ 土壌改良資材の投入  
根に活力を与え、根ぐされを防止し、倒伏や病害虫に対して強い稲となる。
- 土壌分析等による適切な土づくりを行ってください。  
●レンゲ栽培田には、土壌改良資材を、すき込みと同時に散布しましょう。



## 食味向上のポイント

- ① 玄米のタンパク質含量、アミロース含量を抑える施肥管理を行います。  
※穂肥は出穂15日前までに行う。それ以降の穂肥、実肥は行わない。
- ② 苦土肥料を施用しましょう  
苦土一番の施用を行うことにより、苦土が光合成に関与し、登熟歩合を向上させます。
- ③ ケイ酸資材を施用しましょう  
ケイカル、ミネラルGまたは省力化の「土力の達人」等のケイ酸は、窒素をコントロールし、稲の穂を強くします。

## 育苗のポイント

育苗用培土の使用量の標準的な目安 (育苗箱1箱当たり)

◎粒状培土2号 床土: 2kg 覆土 1kg  
◎グリーンソイル 床土: 3kg 覆土 1kg

**浸種**

種子量の4倍の水を使用。

浸種日数目安  
15℃の場合は6日間  
20℃の場合は4日間

**注意事項**

- ① 停滯水で行う。
- ② 最初の2日間は水の交換をしないで下さい。
- ③ 2~3日に1回水の交換を行って下さい。
- ④ 水の交換は静かに行ってください。

**催芽**

ハトム米状態になるまで浸種し、催芽する。

(ハトム米状態)

**床土消毒**

床土灌水後にダコレート水和剤400倍液を500ml/1箱に灌注

**播種**

○播種量は催芽もみ 120~130g/箱  
○種子を均一に播種する。  
○覆土 (もみが隠れる程度)

**育苗 (田植前30日)**

育苗箱は床面に密着させる

遮光フィルムによるトンネル育苗

80%遮光フィルム…幅230cm (シルバーポルトク) 厚さ……………0.05mm

※灌水溝に多く水をためると発芽不良をおこす。特に育苗初期には水をためないで下さい。

**育苗中期管理**

- 播種後、遮光フィルムにより完全密閉したままの状態を管理する。
- 播種7~10日後、2.2葉期苗になれば遮光フィルムを取りはずす。
- 遅れると、徒長苗になるので、右図を参考にして、よく観察し、適期に遮光フィルムの取りはずしを行う。

取りはずし適期苗

第一葉 第二葉

3cm以下 0.5cm 鞘葉

品種	5月			6月			7月			8月			9月			10月					
	旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
生育のめやす	15日頃			12日頃			24日頃			10日頃			26日頃			10日頃					
	胚乳 胚芽			中干し (7/中旬~末頃)			間断灌水			1.5mm幼穂長 2.0mm			出穂期			成熟期					
水管理	播種 (5/15頃)			田植えの適期は6月8日~14日頃が良いでしょう。			追肥 (7/3頃) (7/10頃)			穂肥 (8/8頃)			防除			刈取り (10/7~16頃)					
	※農薬の飛散防止の為に、粒剤を使用しましょう。			箱防除の徹底 いもち病・イナゴ類・ウンカ類・ニカメイチュウ対策 ブーンアレス箱粒剤 50g/箱 (またはフルスロトル箱粒剤50g/箱)			ジャンボタニシ対策 田植後~収穫60日前 スクミノン 4kg/10a			いもち病・紋枯病・カメムシ・ウンカ類の対策 ゴウケツモンスター粒剤 3kg/10a フルスロトル散布田については省略することが出来ます。			カメムシ・ウンカ対策 スタークル粒剤 3kg/10a または スタークル豆つぶ 250g/10a			ウンカ対策 トレボン粒剤 3kg/10a (収穫21日前まで)			出穂後45日を目安にする (籾の色が90%黄熟)		
作業	播種 (5/15頃)			田植当日			追肥 (7/3頃) (7/10頃)			穂肥 (8/8頃)			防除			刈取り (10/7~16頃)					
	※農薬の飛散防止の為に、粒剤を使用しましょう。			箱防除の徹底 いもち病・イナゴ類・ウンカ類・ニカメイチュウ対策 ブーンアレス箱粒剤 50g/箱 (またはフルスロトル箱粒剤50g/箱)			ジャンボタニシ対策 田植後~収穫60日前 スクミノン 4kg/10a			いもち病・紋枯病・カメムシ・ウンカ類の対策 ゴウケツモンスター粒剤 3kg/10a フルスロトル散布田については省略することが出来ます。			カメムシ・ウンカ対策 スタークル粒剤 3kg/10a または スタークル豆つぶ 250g/10a			ウンカ対策 トレボン粒剤 3kg/10a (収穫21日前まで)			出穂後45日を目安にする (籾の色が90%黄熟)		
防除作業	※農薬の飛散防止の為に、粒剤を使用しましょう。			箱防除の徹底 いもち病・イナゴ類・ウンカ類・ニカメイチュウ対策 ブーンアレス箱粒剤 50g/箱 (またはフルスロトル箱粒剤50g/箱)			ジャンボタニシ対策 田植後~収穫60日前 スクミノン 4kg/10a			いもち病・紋枯病・カメムシ・ウンカ類の対策 ゴウケツモンスター粒剤 3kg/10a フルスロトル散布田については省略することが出来ます。			カメムシ・ウンカ対策 スタークル粒剤 3kg/10a または スタークル豆つぶ 250g/10a			ウンカ対策 トレボン粒剤 3kg/10a (収穫21日前まで)			出穂後45日を目安にする (籾の色が90%黄熟)		
	※農薬の飛散防止の為に、粒剤を使用しましょう。			箱防除の徹底 いもち病・イナゴ類・ウンカ類・ニカメイチュウ対策 ブーンアレス箱粒剤 50g/箱 (またはフルスロトル箱粒剤50g/箱)			ジャンボタニシ対策 田植後~収穫60日前 スクミノン 4kg/10a			いもち病・紋枯病・カメムシ・ウンカ類の対策 ゴウケツモンスター粒剤 3kg/10a フルスロトル散布田については省略することが出来ます。			カメムシ・ウンカ対策 スタークル粒剤 3kg/10a または スタークル豆つぶ 250g/10a			ウンカ対策 トレボン粒剤 3kg/10a (収穫21日前まで)			出穂後45日を目安にする (籾の色が90%黄熟)		
作業記入欄	※農薬の飛散防止の為に、粒剤を使用しましょう。			箱防除の徹底 いもち病・イナゴ類・ウンカ類・ニカメイチュウ対策 ブーンアレス箱粒剤 50g/箱 (またはフルスロトル箱粒剤50g/箱)			ジャンボタニシ対策 田植後~収穫60日前 スクミノン 4kg/10a			いもち病・紋枯病・カメムシ・ウンカ類の対策 ゴウケツモンスター粒剤 3kg/10a フルスロトル散布田については省略することが出来ます。			カメムシ・ウンカ対策 スタークル粒剤 3kg/10a または スタークル豆つぶ 250g/10a			ウンカ対策 トレボン粒剤 3kg/10a (収穫21日前まで)			出穂後45日を目安にする (籾の色が90%黄熟)		
	※農薬の飛散防止の為に、粒剤を使用しましょう。			箱防除の徹底 いもち病・イナゴ類・ウンカ類・ニカメイチュウ対策 ブーンアレス箱粒剤 50g/箱 (またはフルスロトル箱粒剤50g/箱)			ジャンボタニシ対策 田植後~収穫60日前 スクミノン 4kg/10a			いもち病・紋枯病・カメムシ・ウンカ類の対策 ゴウケツモンスター粒剤 3kg/10a フルスロトル散布田については省略することが出来ます。			カメムシ・ウンカ対策 スタークル粒剤 3kg/10a または スタークル豆つぶ 250g/10a			ウンカ対策 トレボン粒剤 3kg/10a (収穫21日前まで)			出穂後45日を目安にする (籾の色が90%黄熟)		



**要注意 ジャンボタニシ対策**

- ① 稲刈り後や厳冬期に、ロータリー回転を速く、走行速度を遅くして耕耘しましょう。
- ② 田面は均平に、田植後2週間は浅水 (水深4cm以下) で管理しましょう。
- ③ 水口に網を張り、隣接ほ場や水路からの侵入を防止しましょう。
- ④ ほ場や水路で貝や卵を見つけたら、すぐに補殺しましょう。
- ⑤ 薬剤は温水時に散布し、散布後は落水やかけ流しをしないようにしましょう。

**施肥基準 (10a当り)**

肥料名	総量	基肥	追肥	調整肥	穂肥	成分総量		
						N	P	K
アツミン	40	40				苦土・腐植の補給		
リンスター	(40)	(40)				リン酸の補給		
硫燐48号	30	20	10			4.8	4.8	4.8
苦土一番	(20)			(20)		苦土・ケイ酸の補給		
ニューかん太郎有機	30				30	3.6	1.8	3.6
成分計						8.4	6.6	8.4

**除草体系 (10a当り)**

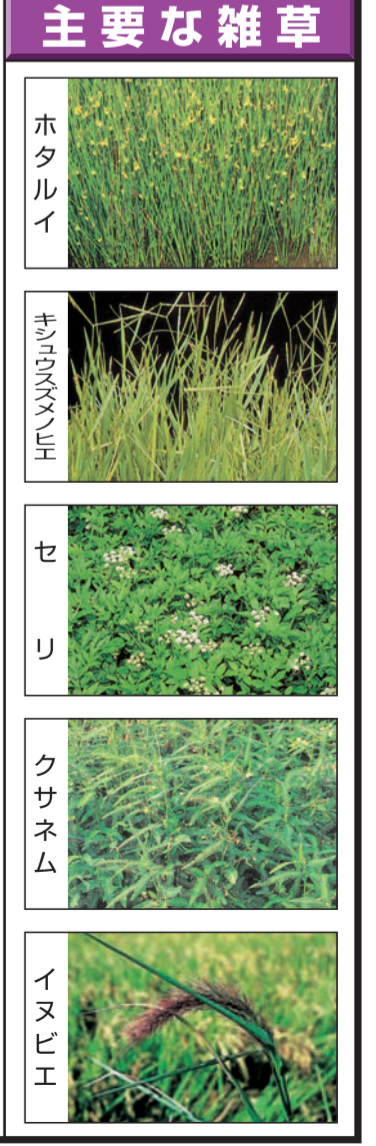
※初期剤+中期剤の2回散布により確実な除草を行ってください。

時期	初期	中期	後期
粒剤	田植後7~14日 エンペラー 1キロ粒剤 1kg	田植後25~40日 (ノビエ4葉期まで)	田植後25~40日 (ノビエ5葉期まで)
フロアブル剤	田植後7~14日 エンペラーフロアブル500ml	田植後7~14日 エンペラーフロアブル500ml	田植後25~40日 (ノビエ5葉期まで)
投込剤	田植後7~14日 エンペラージャンボ250g	田植後7~14日 エンペラージャンボ250g	田植後25~40日 (ノビエ5葉期まで)

田植直後~田植後5日  
ジョキニーフロアブル 500ml

ツイゲキ豆つぶ250g (収穫60日前まで)

クリンチャーバスマE液剤 1000ml (収穫50日前まで)



**農薬散布の注意事項**

病害虫防除の省力化の為に、箱処理剤は必ず施用しましょう。

より安全な栽培のために

- ① 風のない時を選んで作業しましょう。
- ② 露のあるときの散布は避けましょう。
- ③ 農薬散布のときは必ずマスクをしましょう。
- ④ 住宅付近の農薬散布は十分注意してください。
- ⑤ 稲作気象台情報を参考に防除を行ってください。
- ⑥ 農薬使用については最新の登録情報を確認してください。

**省力体系**

肥料名	総量	基肥	追肥	調整肥	穂肥	成分総量		
N	P	K						
アツミン	40	40				苦土・腐植の補給		
リンスター	(40)	(40)				リン酸の補給		
LPコート444E-80 (140日タイプ)	60 (50)	60 (50)				8.4 (7.0)	8.4 (7.0)	8.4 (7.0)
タキコート4771AE (120日タイプ)						8.4 (7.0)	4.2 (3.5)	4.2 (3.5)
苦土一番	(20)			(20)		苦土・ケイ酸の補給		
成分計						8.4	8.4	8.4

(注意事項)  
※LPコートまたはタキコートは代かき直後にむらなくすくいにくいように施用して下さい。  
※出穂10日前頃に肥切れの稲は、硫燐48号を10kg程度施用して下さい。  
※省力体系でも肥料切れをおこす場合がありますので、ほ場条件等により施肥してください。  
※肥料のやり過ぎは、病害虫の発生や食味の低下の原因となりますので注意して下さい。  
※( ) のリンスター、苦土一番を使用する場合は、ほ場の条件等により施用して下さい。  
※ほ場の条件や葉色の度合により施肥量を調整して下さい。  
※LPコートまたはタキコートを水田で使用する場合は、溶出後の殻が浮上することがありますので、ほ場外に流出させないように注意して下さい。

**除草体系 (10a当り)**

(注意事項)  
※使用時期については、必ず商品ラベルをご確認ください。  
※キシュウズメノヒエ (ヨバイ草)、セリ等多発している田では、耕起前にラウンドアップマックスロードで、事前処理をしてから、耕起作業を行ってください。  
※除草効果を高めるため、適期散布をして下さい。  
※除草剤使用後、3~4日間は水深が3~5cmに保たれるように注意して下さい。  
※浮き草・藻類の発生があると農薬の拡散が悪くなります。特に投込剤 (エンペラージャンボ) を使用する際は注意して下さい。  
※雑草が残った場合は、ツイゲキ豆つぶ (温水散布)、クリンチャーバスマE液剤 (落水散布) で処理して下さい。

◎ 栽培履歴を記帳しましょう。

◎ 「無登録農薬」を農産物に使用することは絶対にやめましょう。